

1 令和6年度 廃棄物処理施設の維持管理に関するデータ(新港清掃工場)

表1 処分した廃棄物に係る事項

データ更新日: 令和7年4月15日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
数量(t)	8,768.16	9,576.27	9,953.49	8,743.46	9,413.82	3,685.99	10,065.44	8,235.65	9,552.55	9,967.25	11,065.40	8,802.03	107,829.51

備考)廃棄物の種類は一般廃棄物です。

表2 燃焼ガス温度及び一酸化炭素濃度の測定結果 ※各測定結果は連続記録計の平均値

施設名	項目	月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		単位	月												
1号炉	炉出口ガス温度	℃		986	979	970	967	972	984	946	967	973	964	979	982
	反応集じん装置入口ガス温度	℃		175	175	176	176	176	177	174	174	175	175	176	177
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm		19	19	19	16	17	16	15	18	20	19	21	21
2号炉	炉出口ガス温度	℃		972	974	977	977	980	981	980	-	950	979	985	988
	反応集じん装置入口ガス温度	℃		174	175	175	174	174	175	175	-	172	174	174	175
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm		19	19	17	16	14	16	18	-	17	16	17	18
3号炉	炉出口ガス温度	℃		965	953	960	967	962	932	952	962	965	977	988	925
	反応集じん装置入口ガス温度	℃		173	173	173	173	173	173	173	173	173	174	176	175
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm		22	18	16	16	13	16	16	20	20	18	18	14

表3-1 ばい煙測定結果

施設名	採取場所	項目	測定年月日		R6.4.3	R6.6.3	R6.8.5	R6.10.25	R6.12.3	R7.2.4
			報告年月日	単位						
1号炉	煙突36m地点	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm		18	16	19	17	<10	18
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h		<0.164	<0.178	<0.182	<0.182	<0.182	<0.189
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※
2号炉	煙突36m地点	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm		17	15	12	15	12	11
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h		<0.177	<0.183	<0.167	<0.169	<0.177	<0.183
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※
3号炉	煙突36m地点	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm		<10	<10	10	11	11	18
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h		<0.179	<0.179	<0.176	<0.168	<0.183	<0.185
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※
灰溶融炉・焼却炉合流	煙突36m地点	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※	<5 ※
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm		11	<10	8	10	<10	<10
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h		<0.221	<0.163	<0.189	<0.181	<0.197	<0.204
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※	<0.005 ※

※実測濃度が定量下限値未満のため、換算計算していません。

表3-2 排ガス中のダイオキシン類濃度の測定結果

施設名	採取場所	測定年月日		R6.8.5	1号炉:R6.12.3 2号炉:R6.12.10 3号炉:R6.12.2
		報告年月日	単位		
1号炉	煙突36m地点	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		0.00060	0.0000051
2号炉	煙突36m地点	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		0.0000010	0.00000018
3号炉	煙突36m地点	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>		0.00000085	0.00000029

備考)廃棄物処理施設の維持管理に関するデータは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第6項」に基づき公表するものです。

※排出ガス等に係る法令排出基準値及び管理目標値

項目	法令基準値	管理目標値
ばいじん	0.04 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.01 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>
塩化水素	430 ppm(注1)(700 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	10 ppm
硫黄酸化物	11.92 m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h (82ppm(注2))	10 ppm
窒素酸化物	250 ppm	30 ppm
ダイオキシン類	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>

(注1)塩化水素のppm値は、mg/m<sup>3</sup><sub>N</sub>単位をppm換算したもの (注2)硫黄酸化物のppm値は総量規制値をppm換算したもの

2 令和6年度 排出水の測定結果

表5 排出水中のダイオキシン類濃度の測定結果

項目	採取年月日		R6.8.5	R6.12.2
	報告年月日	単位		
ダイオキシン類	pg-TEQ/l		0.0034	0.000090

表6 一般項目

項目	採取年月日		R6.4.10	R6.5.8	R6.6.5	R6.7.3	R6.8.1	R6.9.5	R6.10.10	R6.11.6	R6.12.5	R7.1.6	R7.2.5	R7.3.5
	報告年月日	単位												
pH	—		7.0	7.1	7.0	7.1	7.1	7.3	7.0	7.0	7.0	6.5	6.5	6.7
BOD	mg/l		3.4	1.3	2.3	1.8	1.8	1.5	1.2	1.6	1.8	0.8	2.2	0.5
SS	mg/l		1	<1	7	1	1	3	3	<1	1	2	5	4

※排出水に係る排出基準値及び管理目標値

項目	排水基準
PH	5.0~9.0
BOD	600 mg/l
SS	600 mg/l
ダイオキシン類	10 pg-TEQ/l

(参考)用語・単位について

ng(ナノグラム)・・・10億分の1グラム  
 pg(ピコグラム)・・・1兆分の1グラム  
 TEQ・・・毒性等量のこと、ダイオキシン類には様々な異性体(代表的なもので29種類)が存在するため、その量をダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性を1として係数を作り(毒性等価係数という)、この係数と実測濃度をかけあわせた数値の合計。  
 m<sup>3</sup><sub>N</sub>(ノルマル立法メートル)・・・摂氏0度、1気圧の状態に換算した気体の体積